

2013 年度学習院大学史学会例会

## シンポジウム【歴史学の現在—今、何が問われているのか】（講演）

■11 月 16 日 講演会

入場無料・予約不要

於 学習院大学西 5 号館 202 教室

### ●講演会

#### 第 1 部

岡本充弘氏 「歴史の個人化、記憶の共同化」

#### 第 2 部

矢野久氏 「歴史研究と〈現在〉—個人史的回顧(1973 年-2013 年)」

コメント(中野隆生教授)・質疑応答

懇親会

### 例会報告(文責：西山直志)

今年度の史学会例会は、11 月 16 日(土)、学習院大学西 5 号館 202 教室にて開催いたしました。今年度は「歴史学の現在—今、何が問われているのか」というテーマのもと、学外からお二人の講師をお招きしてシンポジウム形式で行いました。

#### 第一部 岡本充弘氏「歴史の個人化、記憶の共同化」

第一部では、東洋大学文学部教授の岡本充弘氏に講演を賜りました。従来の理解では、歴史は共同的な営みである一方で、記憶は個人的なものと思われていますが、近年では歴史の個人化やパーソナル・ナラティブ（個人の語り）、記憶の集合性に関する議論が盛んになされています。しかし、その際に問われるべきは、ナショナリティーとモダニティーの問題である、ということをお話し頂きました。

#### 第二部 矢野久氏「歴史研究と〈現在〉—個人史的回顧（1973—2013 年）」

第二部では、慶應義塾大学経済学部教授の矢野久氏に講演を賜りました。研究を始められた頃から現在に至るまでを今振り返って見たときに、その時々の「現在」において何が問題だったのか、もしくは何を問題と考えていたのか、ということをお話し頂きました。さまざまな研究者（人）との出会いの中で、ご自身の研究が形作られていったという点が印象的でした。



〈第一部 岡本充弘氏〉



〈第二部 矢野久氏〉

### コメント・質疑応答

お二人の教授の講演を受けて、本学教授の中野隆生氏からコメントを頂いたのち、質疑応答となりました。質問用紙をまとめる形を取りましたが、フロアからの活発な質問が出て、予定時間を上回る盛況の会となりました。



ご講演を賜りました岡本教授・矢野教授および中野先生、また参加して下さいました皆さまに厚く御礼申し上げます。